

事業報告書

第 15 期

自 2017 年 9 月 1 日
至 2018 年 8 月 31 日

特定非営利活動法人 劇研

目次

特定非営利活動に係る事業

劇場運営事業	・ ・ ・ ・ ・ 1
創造事業	・ ・ ・ ・ ・ 1
人材育成事業	・ ・ ・ ・ ・ 3
国際交流事業	・ ・ ・ ・ ・ 5
文化・芸術活動支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 6
文化・芸術を教育や児童青少年に活用する事業	・ ・ 6
文化・芸術による地域のまちづくり事業	・ ・ ・ ・ 7

特定非営利活動に係る事業

劇場運営事業	支出額 216,688 円
--------	---------------

1. 事業概要

劇場「アトリエ劇研」の運営を行ってきたが、劇場が2017年8月末をもって閉館したため、事業が終了した。
劇場機材の引越し、廃棄、清掃等の作業を実施した。

2. 活動実績

- ・ アトリエ劇研の閉館の伴う劇場明け渡し作業

創造事業	支出額 5,042,390 円
------	-----------------

1. 事業内容

シニア世代の表現活動促進事業として舞台芸術作品の制作や企画を行った。

2. 活動実績

- ・ 50才以上とするシニア世代のクラスの運営を継続。(劇研シニア劇団/高槻シニア劇団)

■ 劇研シニア劇団3クラスの企画運営 (主な活動場所 左京西部いきいき市民活動センター 人間座スタジオ)

シニア劇団「銀宴」 練習毎週水曜 (指導・演出：田辺剛)

公演：2018年6月 第4回公演『雨が上がれば』脚本・演出：田辺剛

会場：人間座スタジオ 観客動員数：114名

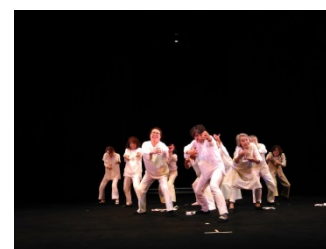


シニア劇団「星組」 練習毎週月曜 (指導・演出：細見佳代)

公演：2018年2月 Kyoto演劇フェスティバル参加公演

『星組版 地獄八景亡者戯』構成・演出：細見佳代

会場：京都府立文化芸術会館大ホール 劇団動員数：182名+劇場動員数



シニア劇団「空いろ」 毎週金曜日 (指導・演出：細見佳代)

公演：2017年10月第2回公演 『泰山木の花ひらくとき』構成・演出：細見佳代

会場：人間座スタジオ 観客動員数：173名

■ 高槻シニア劇団3クラスの企画運営 (主な活動場所 高槻現代劇場 富田ふれあい文化センター)

高槻シニア劇団「恍惚一座」 練習毎週火曜 (指導・演出：山口茜)

公演：公演：2018年2月 Kyoto演劇フェスティバル参加公演

『前髪を揺らす風』脚本・演出：高杉征司

会場：京都府立文化芸術会館和室 劇団動員数：約65名+劇場動員数

公演：2017年9月 高槻de演劇秋のプログラム (高槻現代劇場主催)

恍惚一座 第5回公演 「ハウスホールド」脚本・演出＝山口茜

会場：高槻現代劇場305号室 観客動員数：216名



高槻シニア劇団「そよ風ペダル」練習毎週火曜（指導・演出：筒井潤）

公演：2017年11月高槻de演劇秋のプログラム（高槻現代劇場主催）

そよ風ペダル 第5回公演「乾かない指はない」構成・演出・振付：筒井潤

会場：高槻現代劇場305号室 観客動員数165名



高槻シニア劇団「wakuwaku」 毎週木曜日（指導・演出：高杉征司）

公演：2017年10月高槻de演劇秋のプログラム（高槻現代劇場主催）

Wakuwaku 第2回公演「遠くに街が見える」脚本・演出：高杉征司

会場：高槻現代劇場305号室 観客動員数198名

■ 活動総括（事業担当：杉山）

「シニア劇団」以外の創造事業については、作品発表の場であった「アトリエ劇研」の閉館もあり「シニア劇団」以外の作品創造を見送ることになった。

■ 活動総括（シニア事業担当：梶川）

京都ではアトリエ劇研の閉館があり、公演会場が人間座スタジオに移った。これに伴った客席数の減少や劇団員の人数の減少などがあり例年よりも動員数が少なくなった。

星組は Kyoto 演劇フェスティバルに参加した。上演した「星組版 地獄八景亡者戯」はアトリエ劇研、京都劇場に続いての三度目の再演となる。新たな演出も加わるとともに劇団員の確かな演技力に下支えされ質の高い上演となった。

高槻では高槻現代劇場主催の高槻de演劇とは別で、恍惚一座が自主的に kyoto 演劇フェスティバルに参加した。この上演に向けての運営に関して、劇研はサポートにまわり劇場との連絡、予算や予約の管理など多くのことを劇団員が担った。

劇団数を増やす方針で進めているが、運営側の人員が不足してきている。人材育成とともに、劇団員の中で運営に興味がある方もいるので、そういった機運も鑑みながら発展的な継続につなげていきたい。

人材育成事業（『世界に視野を開く、地域の演劇リーダー育成プログラム（通称：世界演劇）を含む）	支出額 5,068,656 円
--	-----------------

1. 事業概要

舞台芸術に関わる人材育成を目的に、各種のプログラム及び公演を実施した。

2. 活動実績

- ・ 演劇初心者、アマチュアの演劇愛好者を対象にした公演クラスの継続(京都1クラス／高槻1クラス)
- ・ 若手の才能、技術や意識の向上と活躍機会の拡大を目指すスキルアップクラスの実施
- ・ 文化庁委託事業として「世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム2017」を実施した。
- ・ 「世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム」の修了者支援として「皿の歌公演『サロ人』」を実施した。

■ 劇研アクターズラボ・公演クラス 京都（主な活動場所 人間座スタジオ／京都）

演劇初心者、アマチュアの演劇愛好者を対象にした演劇クラス。1年間の練習を経て公演を実施する。

「劇研アクターズラボ+このしたやみ」クラス＜指導：山口浩章（演出家）他＞

毎週水曜実施 受講者 10 名 2017 年 6 月スタート。

第1回公演 2018 年 5 月 4 日～6 日『友達』上演

会場：人間座スタジオ／観客数 143 名

第2期：2018 年 6 月スタート 受講者 15 名



■ 劇研アクターズラボ・公演クラス高槻（主な活動場所 高槻現代劇場＜大阪府高槻市＞）

「劇研アクターズラボ+夕暮れ社弱男ユニット」＜指導：村上慎太郎（劇作家・演出家）＞

チーム名「水曜の家族」毎週水曜日開講 受講者 14 名

第3回公演：2017 年 11 月 18 日、19 日『家族になりたい』上演 観客数 201 名

会場：高槻現代劇場 305 号室

高槻 de 演劇秋のプログラム(高槻現代劇場主催)

*第3回公演をもって、「劇団」として独立。活動を継続中

「劇研アクターズラボ+烏丸ストロークロック」＜指導：柳沼昭徳（劇作家・演出家）＞

チーム名「劇団わん」毎週水曜日開講 受講者 8 名

2017 年 12 月スタート



■ アクターズラボ・特別クラス

トーマス・リーブハート氏によるコーポリアルマイムワークショップ』（助成：フルブ

ライト財団（アメリカ）＊トーマス氏の渡航及び謝金に対して本人に支払い

アメリカから、コーポリアルマイムの世界的な第一人者である、トーマス・リーブハート教授を招きワークショップを開催した。2017 年 12 月 10 日～22 日 1 日 6 時間のワークショップを 10 日間実施 受講者 18 名（うちフランスから参加 1



名、アメリカから参加2名) 小作品発表会 22日 観客数 30人

会場: 左京東部いきいき市民活動センター



■ アクターズラボ・スキルアップクラス

『世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム 2017 (通称『世界演劇』) (文化庁委託事業 事業費 1,869,491 円)』

海外から一流の講師陣を招き、オーディションで選ばれた俳優に密度の高いトレーニングを実施するとともに、デバイジングと呼ばれる俳優自らが創作者となって作品を創作する手法で作品を作り上演した。

チーム名「ユバチ」受講者6名 第3回公演『未明』2018年1月13日、14日



会場: 京都芸術センター (KAC TRIAL PROJECT2017/Co-program カテゴリーD[KAC セレクション])/観客数 105名

『役者にとって必要な基礎技術の勉強会』

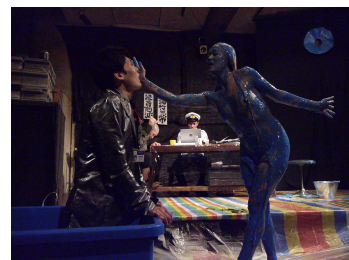
世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム出身者による、ワークショップ。出身者のアフターケアの一環で実施。第1期 2018年6月～8月 12回開催。総参加者数 113名

皿の歌公演『サロ人』(助成: 芸術文化振興基金)

世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム出身者のアフターケアの一環で実施。

小倉笑が主演及び主宰する公演を支援した。

2018年6月7日、8日 会場 京都 UrBANGUILD 観客数 81名



■ 活動総括 (事業担当: 杉山準)

演劇の裾野拡大と技術向上を目的に京都と高槻で実施している公演クラスは講座運営も安定し、定着して来ている。劇団「このしたやみ」によるクラスの初めての公演を京都で開講した。また、新たな参加者を加え2期目のスタートを順調に切ることができた。高槻では3年目を迎えた村上慎太郎さんが指導するクラスが、最終公演を非常にいい形で終え、ほとんどのメンバーが参加する形で自立(独立)。劇団として独自の活動を開始した。それに伴い劇団「烏丸ストロークロック」の柳沼さんをメイン講師とする、新たなクラスが立ち上がり2018年の11月の公演に向けて熱心な稽古を続けている。

スキルアップクラスは文化庁の委託事業の3年目を迎えた『世界に視野を開く、地域の演劇リーダー育成プログラム』が3回目の公演を終え、3年間のプログラムを締めくくった。ここから巣立ったメンバーについてはアフターケアを3年程度実施し、彼らの自立と活躍を支援する。今年度は希望したメンバーによるワークショップ『役者にとって必要な基礎技術の勉強会』を開催、及び皿の歌公演『サロ人』を支援した。また、アメリカのフルブライト財団の支援を受けて、トーマスリーブハート氏を今年も京都に招くことができ、「特別クラス」として非常に貴重な講座を行うことができた。この講座にはフランスやアメリカからも受講生が参加いただき、国際交流としても意義あるものとなった。

国際交流事業	支出額 766,986 円
--------	---------------

1. 事業概要

舞台芸術を通じた国際交流を目的に、フランスにおいて以下のプログラム及び公演を実施した。

2. 活動実績

- ・ パリとマルセイユにおいて日本人アーティストによるワークショップを実施した。
- ・ マルセイユにおいてデモンストレーション公演を実施した。
- ・ マルセイユにおいて、「ユバチ」参加の俳優柳泰葉と音楽家野村誠がフランス人演出家 ディディエ・ガラス及び俳優（ERAC 所属）とともに作品を創作し発表した。

＊渡航費助成：国際交流基金

■ 日本人俳優によるフランスでのワークショップ

2014 年～2016 年にわたってアトリエ劇研 30 周年事業の一環で創作・上演した国際共同作品『ことばのはじまり』に出演していた、ダンサーの森川弘和、きたまり、ミュージシャンの野村誠、やぶくみこがフランスのパリ、及びマルセイユにてフランス人に対してワークショップを実施した。

2018 年 2 月 19 日～23 日 会場 La Nef 劇場が借り上げたスタジオ（パリ） 受講者 16 名



2018 年 2 月 26 日～3 月 4 日 会場 ERAC 内スタジオ／IMMS（マルセイユ）

受講者 17 名（フランストップクラスの国立俳優養成校 ERAC の最終学年の生徒に対してワークショップを実施。）



■ デモンストレーション公演

IMMS（マルセイユ）において、森川弘和、きたまり、野村誠、やぶくみこが以下の作品を上演した。

『Anatomie』（ダンス）森川弘和、『ソロ』（ダンス）きたまり、『Light and tree』（音楽）やぶくみこ、『Physical pianist』（音楽）野村誠、即興演奏（音楽）やぶくみこ&野村誠

2018 年 3 月 2 日 会場：IMMS 内スタジオ（マルセイユ）／観客数 50 名



■ 創作公演

『世界に視野を開く、地域の演劇リーダー育成プログラム』を修了した柳泰葉とミュージシャン野村誠が、演出家ディディエ・ガラス（フランス）と ERAC のメンバーとともに、作品を制作し上演した。

『OUVROIR DE PAROLE』演出：ディディエ・ガラス 音楽：野村誠 出演：柳泰葉 他

2018 年 3 月 17 日 会場：IMMS 内スタジオ（マルセイユ）／観客数 50 名



文化・芸術活動支援事業	支出額 2,588,103 円
-------------	-----------------

1. 事業概要

舞台スタッフやプロデュースなど専門家の派遣や演劇プログラムの企画・実施等を請け負う。

2. 活動実績

- ・ 京都造形芸術大学舞台芸術学科への「アドバイザリースタッフ」派遣 年間複数回実施。
- ・ 近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻への高所作業指導員の派遣。年間複数回実施。
- ・ 公益財団法人高槻市文化振興事業団が行う、高槻現代劇場の演劇プログラムの受託。
- ・ 全国学生演劇祭の事務局業務受託

- 公益財団法人高槻市文化振興事業団の委託を受けて、『高槻 de 演劇』と題する高槻現代劇場（高槻市）の主催事業を実施した。

『高槻 de 演劇秋のプログラム』2017 年 11 月会場：高槻現代劇場 305 号室他

初心者向け演劇ワークショップ、ラボ+夕暮れ社弱男ユニット『家族になりたい』 公演

高槻シニア劇団 wakuwaku 公演『遠くに街が見える』 MEHEM vol.5 公演『ひとつのつきをまっていた』

文化・芸術を教育や児童青少年育成に活用する事業	支出額 193,860 円
-------------------------	---------------

1. 事業概要

舞台芸術の表現の魅力を伝えるとともに、その表現や演技の力を社会に活かす活動を実施する。

2. 活動実績

- ・ 演劇の手法を用いて学校での授業を実施。
- 高槻市立第九中学校で授業を実施。2018 年 6 月 28 日
- 高槻市立阿武野中学校で授業を実施。2018 年 7 月 11 日

高槻市文化振興事業団の依頼を受けて、高槻市立第九中学校及び阿武野中学校で総合の時間を使って中学 3 年生全員に演劇の授業を行った。今年度もアシスタントとして、人材育成事業を受講していたメンバーを加えておこなった。

1. 事業概要

文化・芸術を活用した手法を用いて地域のまちづくり、地域振興に資する事業を実施する。

2. 活動実績

・京都市左京西部いきいき市民活動センターおよび左京東部いきいき市民活動センターの管理・運営および高齢者ふれあいサロンの管理運営と地域活性化に関わる事業の実施。建物の維持管理を行うとともに、会議室を、文化事業を始めとする市民活動に貸し出し、高い稼働率で運営を行った。

・高齢者福祉やまちづくりに資する以下の「市民活動活性化事業」を京都市の委託事業として実施した。

<左京西部>*主な主催事業

・先進的な高齢者向け事業の取り組み紹介とシンポジウム『回想法の実践とその可能性』



当センターが力を入れて取り組む、高齢者向け事業の一環として、吹田市介護老人保健施設で働いている佐上雅宣氏を招き、「回想法」の実践について講義をしていただくとともに、第二部では回想法と演劇活動を結びつける活動をしている細見佳代さんの事例を紹介するとともに、そうした活動について座談会を行った。

開催日時 2017 年 10 月 7 日（土）レクチャー 13：30～14：30 シンポジウム 14：40～15：40 参加者 25 名

・芸術・文化を使った高齢者向け事業活性化プログラム

芸術活動を高齢者福祉に活かす取組を検証し、その成果を紹介するとともに、様々な芸術分野におけるそうした活動取組を紹介するための冊子を編集し、広く配布した。

・地域住民及び多世代交流促進事業 2018『ようせい夏まつり 2018』



昨年およそ 20 年ぶりに復活したお祭りを本年も実施した。

- ・17 時から模擬店スタート
- ・17 時 20 分～19 時 30 分ステージパフォーマンス
- ・19 時 30 分～21 時：盆踊り

開催日時 2018 年 8 月 4 日（土）17 時～21 時

参加人数延べ約 750 人

・いきいきワークショップフェスティバル 2018



当センターの利用者等の活動を体験してもらうワークショップフェスティバルを開催し、全 21 団体・個人（1 団体は開催中止）の活動を広く紹介した。

事業は、左京区役所が実施する『左京大博覧会』と連携し、それぞれの催しにおいて相互に人や情報が行き来する状況を作り出した。

開催日時 2018 年 6 月 2 日（土）20 講座

参加人数 206 名

<左京東部>＊主な主催事業

・ 世代間交流と高齢者福祉をアートでつなぐプロジェクト

大谷大学社会学部と連携し、学生を交えて高齢者に聞き取りを実施。それを芸術家とともに成果物として冊子と展示物にまとめた。12月から2月にかけて、左京東部いきいき市民活動センターならびに、大谷大学、左京西部いきいき市民活動センターにおいて、聞き取った内容をまとめて展示を行った。

また、展示に合わせて美術、音楽、演劇、ダンスといった様々な芸術ジャンルを使って、高齢者の健康維持に貢献する事例を紹介するシンポジウムを開催した。

10月12日(木):聞き取り研修会、10月12日(木)19日(木):個人に対して思い出話の聴き取り、11月9日(木)10日(金)写真撮影、10月下旬～12月上旬:文字おこし作業、展示文章の推敲、語り手への文章の確認、展示物の作成

12月:シンポジウム及び展示会(12月9日～12月25日<左京東部いきセンにて展示/1月9日～22日<大谷大学にて展示>/1月27日～2月11日<左京西部いきセンにて展示>語り手6名聞き手大学生9名・展示会来館者のべ300名(3会場概算合計)・シンポジウム登壇者4名参加者14名

・ 芸術・文化を使って社会包摂を促進する事業

障害を抱える人をサポートしている市民団体と連携し、障害者がアートを用いて社会と繋がる活動事例を紹介する講演会を開催した。



2017年3月3日(土)14:00～16:00 展示会来館者のべ17名

・ 近隣地域との交流促進事業『復活! 錦林盆踊り大会2018』



過去3年取り組んできたお祭りを今年度も引き続き実施した。盆踊りの復活を目玉に据えて、老若男女、他地域、他国籍いろいろな人が集えるお祭りを開催。17時:模擬店開店。18時盆踊りスタート。21時終了。

開催日時2018年7月30日17時～21時

参加人数延べ約650人